

日中間で相互配信

ムーブが携帯コンテンツ

【神戸】ムーブ（神戸市中央区、市成修社長、078・321・0015）は日中間で携帯コンテンツの相互配信を始めた。北京最大の携帯ウェブサイト、千龍新聞網（北京市、周科進総裁）からニュース、ポップ

ス、古典音楽の提供を受け、日本国内向けにサービスを始め、また、中国では公営数字選択式宝くじ「ロト」を千龍新聞網を通じて中国最大手の携帯通信事業者である中国移动（チャイナモバイル）にサービス提供を始

めた。日中間での携帯コンテンツの相互配信は業界で初めてという。

ムーブが5月に始めたのは、中国初の携帯ロト予想サービス「彩票集中贏」で、北京で発売されている3種類のロトに対応。コンテンツ利用料は月6元（約80円）。まずは北京地域から始め、今後は中国聯通（チャイナユニコム）にも提供し、中

国全域の109種類のロトをカバーする計画。

同社は千龍新聞網と04年10月末に日中間で相互に携帯向けコンテンツを中心とした流通事業を行うことで基本合意。日本国内向けは4月から、KDDIが提供するau携帯電話対応の「Ezweb」サイトで千龍新聞網

から提供を受けた中国情報コンテンツ「100%ちゃん」のサービスを始めている。